

ポータブルトイレの 新しい活用方法のご提案



1 冬場でも注意したい脱水症の対策にポータブルトイレが有効

脱水症といえば夏場におきるものとお考えではないですか？しかし、空気が乾燥する冬場も体内の水分が失われやすく要注意です。特に高齢者は喉の渇きを感じにくいので、意識的に水分をとる必要があります。

冬場の脱水の原因

外的要因

- 外気が乾燥している
- 暖房で室内も乾燥している

「不感蒸泄」で体から
自然に水分が失われる



内的要因

- 失禁が心配で水分補給を控えてしまう
- 水分を失っている自覚がない
- 喉の渇きを感じにくい
- 汗をかいている実感がない

水分補給が足りない

冬でも脱水しやすい！水分補給が大切！

ポータブルトイレを導入すると

失禁が心配で水分補給を控えてしまう方も、近くに設置できるポータブルトイレを導入することで、安心して水分を補給することができます。
脱水症対策にポータブルトイレが活用できます！

近いから
安心♪



2 コロナ禍の感染症対策としてポータブルトイレを活用

新型コロナウイルスをはじめ、多くの感染症は気道分泌物および糞便から分離されますので、環境の汚染がありえます。そのため排泄物への接触感染対策が重要といえます。

新規ポータブルトイレ向け

家具調トイレセレクトR 自動ラップ

128,000円(税抜)～

※消耗品(専用凝固剤、専用フィルムカセット)は
本体に添付されていません。



固めて自動ラップする



非接触で
感染症予防

既存ポータブルトイレ向け

ポータブルトイレ用処理袋 すっきりポイ(30枚入)

3,900円(税抜)～

縦42×横55cm 尿吸収量:1000ml



処理袋をバケツに被せる

非接触で
感染症予防



Point!

家具調トイレセレクトR 自動ラップについて

- 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の中の「感染症対策に要する物品購入」に該当します。
(都道府県により申請の詳細は異なりますので、各自治体へお問い合わせください)
- 介護ロボット等導入支援特別事業の対象となります。補助の内容や締め切りについては各自治体へお問い合わせください。



3 災害時の要介護者のための緊急用トイレとして

災害時、上下水道や電気といったインフラが使えなくなると、トイレが使用できなくなります。仮設トイレ、避難所設備があっても、トイレの入り口に段差があったり、和式便器であることが多いため、要介護者ではトイレを使うことが困難になってしまいます。



上水道



下水道



電気



バキューム車不足

トワレットチェアと汚物処理袋(すっきりポイ)を組み合わせ使用しましょう!

トワレットチェアは普段はイスとして使い、緊急時にポータブルトイレとして使用できます。汚物処理袋(すっきりポイ)を使うと水を使わずポータブルトイレを使用することができます。

普段は イスとして

使わないときはバケツを外してイスらしく。
来客時にも気になりません。



災害時は ポータブルトイレとして

座面クッションを外せば、ポータブルトイレになります。バケツ蓋を便座の上に置けるので、ニオイが部屋に充満するのを軽減できます。



トワレットチェア

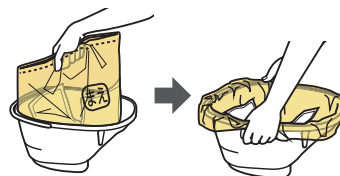
43,000円(税抜)～



ポータブルトイレ用処理袋 すっきりポイ(30枚入)

3,900円(税抜)～

縦42×横55cm 尿吸収量:1000ml



「安寿」のポータブルトイレ

購入対象品
(介護保険)

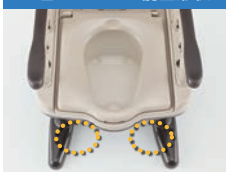
最大使用者体重
100kg

ポータブルトイレ ジャスピタ 31,000円(税抜)～



独自の形状が排泄姿勢の崩れを防ぎ、理想的な排泄姿勢に導きます!
(尿こぼれを防止)

左右がくぼんだ前面形状



脚が開きやすくなる山形状



ポータブルトイレ FX-CP 23,500円(税抜)～



おかげさまで
累計生産台数
100万台突破
FX-CPシリーズ

おかげさまで
シリーズ累計生産台数
100万台突破!
多くの方にご利用されている
樹脂製ポータブルトイレ。

